

原子力空母 つて必要ですか

横須賀に

原子力空母 反対集会

12/8 (日)

午後 2 時

横須賀市
ヴェルニー公園

主催：安保廃棄神奈川県統一促進会議 045-201-3684
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
協賛：安保破棄実行委員会 03-3264-4764

80機の艦戦機をのせられる
攻撃型の航空母艦



終了後デモ行進を行います
ご近所の方々の
ご理解・ご協力をお願いします

原子力空母つて必要ですか

在日米海軍横須賀基地は1973年10月に米空母ミッドウェーの「母港」とされ、2008年に原子力空母ジョージ・ワシントン配備。2015年のロナルド・レーガンの交代のあと、今年再び最新鋭にリニューアルされてジョージ・ワシントンが配備されることに。横須賀は半世紀以上、ベトナム戦争以来米国の侵略と干渉の出撃拠点とされてきました。

当初はおおむね3年とされた「母港」も、いまや永久化されようとしています。

岸田内閣以来「反撃能力」という名で、「敵基地攻撃能力」(=先制攻撃)の拠点に変貌しつつあります。さらに、石破内閣は自民党総裁選の時からアジア版NATO創設をめざすと言い出し、日本が核兵器を管理する「核共有」まで言及しています。

原子力空母 反対集会

原子炉をもつ米原子力空母は、いったん事故が起これば、首都圏3000万人の命と暮らしが奪われます。

この日米同盟を基軸とした軍事大国化で、国民には年間8兆円もの負担が押しつけられます。

さらに、県内では艦載米軍機の事故、女性暴行をはじめとする米兵犯罪、環境汚染などの事件も頻発しています。

みなさんは、この事実をどう考えるでしょうか。わたしたちは、一人ひとりの命を一番大切にしながら、県内米軍基地の撤去に向けて声をあげていきます。

